

1 富山県の動き

(1) 概 況

本県経済をみると、個人消費は、持ち直している。住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。設備投資は、増加している。公共投資は、おおむね横ばいとなっている。生産は、持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる。企業倒産の件数は、二桁台となっている。消費者物価は、上昇している。以上のように**最近の本県の景気は、持ち直している。**

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気が引き続き持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響や、世界的な金融引締めに伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクに十分注意する必要がある。

県としては、引き続き、社会資本整備の推進、中小企業の金融対策や、デジタル化、高付加価値化に対する支援、産業振興と一体となった雇用創造、人手不足の分野における雇成型訓練等を内容とする経済・雇用対策に取り組むとともに、医薬・バイオなどの健康関連産業、環境・エネルギー関連産業、先端ものづくり産業の育成に向けたチャレンジに取り組むこととしている。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（7月）	91.5	▲3.9%	▲6.2%
鉱工業在庫指数（7月）	115.5	0.5%	2.7%
大型小売店販売額（7月）	112億67百万円	（全店ベース）	2.1%
新設住宅着工戸数（7月）	546戸	▲6.5%	▲7.9%
消費者物価指数（8月・富山市）	106.9	0.2%	3.9%
有効求人倍率（8月・季節調整値）	1.40倍	▲0.03ポイント	▲0.17ポイント

※鉱工業生産指数・在庫指数は、平成27年＝100

※消費者物価指数は、令和3年7月分発表時より令和2年基準に改定

※有効求人倍率は、令和4年12月以前の数値を新季節指数により改定

(2) 個人消費

個人消費は、持ち直している。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、6月は113億75百万円の後、7月は112億67百万円で前月比0.9%減（前年同月比2.1%増、既存店は前年同月比2.1%増）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、7月は3,196台で前年同月比9.7%増の後、8月は2,957台で同24.7%増となった。

(3) 住宅建設

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。新設住宅着工戸数をみると、6月は総戸数584戸（前年同月比28.9%増）の後、7月は総戸数546戸（同7.9%減）で、内訳をみると、持家は263戸（同1.1%減）、貸家は238戸（前年同月比同じ）、分譲住宅は31戸（同63.1%減）などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、増加している。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」（令和5年6月調査）により、令和5年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比16.9%増となった（ソフトウェア投資額を除く）。内訳は、製造業で前年度比36.1%増、非製造業で前年度比4.8%増となった。

(5) 公共投資

公共投資は、おおむね横ばいとなっている。公共工事前払金保証事業統計（北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ）で公共工事請負金額をみると、7月は132億63百万円の後、8月は111億70百万円で前年同月比同じとなった。また、令和5年6月－令和5年8月期の平均額は、128億14百万円で前年同期比4.7%減となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、持ち直しの兆しがみられる。鉱工業生産指数（平成27年＝100、季節調整済）は、6月に95.2となった後、7月は前月比3.9%低下の91.5（前年同月比6.2%低下）となった。業種別に動き（前月比）をみると、13業種中、輸送機械工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業など5業種が上昇し、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業、金属製品工業など8業種が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、6月に114.9となった後、7月は前月比0.5%上昇の115.5（前年同月比2.7%上昇）となった。業種別に動きをみると、13業種中、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、窯業・土石製品工業など9業種が上昇し、化学工業、非鉄金属工業、鉄鋼業など4業種が低下となった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる。月間有効求人数（パート含む。）は8月に22,229人（前年同月比5.0%減）、月間有効求職者数（パート含む。）は8月に15,765人（同6.5%増）となった。有効求人倍率（季節調整済）は、7月に1.43倍の後、8月は1.40倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、二桁台となっている。企業倒産（負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調）の状況をみると、7月に8件、負債総額5億24百万円（前年同月：6件増、4億10百万円増）の後、8月の件数は10件で、負債総額17億97百万円（前年同月：6件増、12億10百万円増）となった。産業別では、建設業で3件、卸売業で2件、小売業で1件、サービス業他で4件だった。破綻原因は、他社倒産の余波1件、販売不振9件だった。

(9) 物価

消費者物価は、上昇している。富山市の消費者物価指数（令和2年＝100）をみると、総合指数は、7月は106.8で前月比0.7%上昇（前年同月比4.1%上昇）となった後、8月は106.9で前月比0.2%上昇（同3.9%上昇）となった。前月比で「家具・家事用品」などが下落したものの、「交通・通信」などが上昇したため、総合指数の前月比は上昇。また、生鮮食品を除く総合指数は106.8で、前月比0.2%上昇（前年同月比3.9%上昇）、生鮮食品の指数は110.1で、前月比1.8%上昇（同3.8%上昇）となっている。

また、国内企業物価指数を見ると、7月は119.3で前月比0.1%上昇（前年同月比3.4%上昇）となった後、8月は119.6で前月比0.3%上昇（前年同月比3.2%上昇）となった。

(10) その他の動き

① 工業の動き（7月～8月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>金属工作機械については、生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>半導体製造装置については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
輸送機械	<p>生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
非鉄金属	<p>生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
鉄鋼	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、不足している。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>医薬品については、生産は増加、出荷は横ばいとなっている。現状は低調、見通しは堅調となっている。雇用状況については、不足している。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産は増加、出荷は横ばいとなっている。現状は低調、見通しは停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
木材・木製品	<p>需要については、低迷している。価格については、下落傾向が続いている。見通しは、低迷となっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>生産は横ばい、受注は増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、不足している。</p>
繊維	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

8月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は7,289人で、前年同月比3.7%減となった。主要産業別では、建設業（3.4%）、情報通信業（43.5%）、運輸業、郵便業（23.6%）、金融業、保険業（31.4%）、宿泊業、飲食サービス業（0.6%）、公務・その他（4.2%）等で増加し、製造業（▲9.1%）、卸売業、小売業（▲3.5%）、不動産業、物品賃貸業（▲4.8%）、生活関連サービス業、娯楽業（▲13.2%）、医療、福祉（▲11.2%）、サービス業（▲2.7%）等で減少した。労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、8月は1.40倍となり、前月比で0.03ポイント低下となり、前年同月比で0.17ポイント低下となった。

③ 近年の企業立地動向

区 分	30年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
雇用創出数	517人	424人	321人	356人	362人
企業立地件数	70件	72件	60件	60件	62件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 418.0ha、分譲率 98%）

・最近の主な立地企業（令和3年11月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
株式会社大樹（本社工場増築）	射水市	包装資材製造	5年8月
株式会社SCREENホールディングス（高岡事業所）	高岡市	半導体製造装置製造	5年8月
Genky DrugStores株式会社（ゲンキー富山小矢部RPDC）	小矢部市	ドラッグストア事業	5年7月
ナレッジメディカル株式会社（本部社屋）	高岡市	医療機器販売	5年7月
リードケミカル株式会社（久金工場南 包装物流棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
富士化学工業株式会社（製剤第3棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
株式会社シキノハイテック（第二工場）	魚津市	電子機器製造	5年5月
株式会社不二越（油圧走行モータ第2工場）	滑川市	工具・工作機械製造	5年4月
ジャパンメディック株式会社（新工場）	富山市	医薬品製造	5年4月
株式会社リッチェル（本社R&Dセンター）	富山市	プラスチック製品製造	5年4月
十全化学株式会社（本社屋）	富山市	医薬品製造	5年3月
立山化成株式会社（新精製棟）	射水市	医薬品製造	5年3月
日東メディック株式会社（第1製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年12月
株式会社廣昌堂（新包装棟）	射水市	医薬品製造	4年12月
日本ゼオン株式会社（統合生産センター）	高岡市	合成ゴム・電子材料製造	4年10月
株式会社KMC（新本社・工場）	高岡市	金型製造	4年9月
NSK富山株式会社（高岡工場 新棟）	高岡市	産業機械用軸受製造	4年9月
タカノギケン株式会社（新工場）	富山市	電子部品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第7製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第6製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年6月
株式会社山口技研（新工場）	入善町	精密加工	4年6月
ダイト株式会社（第七原薬棟）	富山市	医薬品製造	4年5月
鹿島興亜電工株式会社（富山工場）	砺波市	電子部品製造	4年5月
エヌアイシ・オートテック株式会社（立山第3工場）	立山町	産業用アルミフレーム製造	4年4月
富山小林製薬株式会社（漢方棟）	富山市	医薬品製造	4年3月
立山化学株式会社（立山化学本部工場）	富山市	電子部品・電子機器製造	4年1月
新新薬品工業株式会社（総合管理センター）	富山市	医薬品製造	4年1月
ダイト(株)（品質保証棟）	富山市	医薬品製造	3年12月
リードケミカル(株)（リサーチセンター）	富山市	医薬品製造	3年11月
コマツ（新シールリング工場）	氷見市	建設機械製造	3年11月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>